令 和 7 年 度

県営土地改良事業計画書

農地中間管理機構関連農地整備事業

都道府県名	福　岡　県
地 区 名	柳川北部第３
所 在 地	柳　川　市
事業主体	福　岡　県

目　次

第１章　目　的 …… 1

第２章　地域及び地積 …… 1
　第１節　地　域 …… 1
　第２節　地　積 …… 2

第３章　現　況 …… 3
　第１節　気象及び海象 …… 3
　　1　一般気象 …… 3
　　2　特殊気象 …… 3
　　3　海　象 …… 4
　第２節　土地状況 …… 4
　　1　地形、土壌及び浸食の程度 …… 4
　　2　土地分類 …… 6
　　3　土地利用の状況 …… 7
　　4　土地所有の状況 …… 8
　第３節　水利状況 …… 9
　　1　用水状況 …… 9
　　2　排水状況 …… 13
　　3　河川状況 …… 16
　第４節　道路現況 …… 17
　　1　道路概況 …… 17
　　2　主要道路一覧表 …… 17
　第５節　地域農業の概況 …… 18
　　1　産業別就業人口 …… 18
　　2　経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数 …… 19
　　3　動力農機具及び主要家畜頭数 …… 19
　　4　主要作物作付状況 …… 20
　　5　農業の動向 …… 21
　第６節　地域環境の概況 …… 22

第４章　一般計画 …… 23
　第１節　事業計画の要旨 …… 23
　　1　要　旨 …… 23
　　2　事業別面積 …… 23
　第２節　営農計画及び土地利用計画 …… 24
　　1　営農計画の概要 …… 24
　　2　土地利用区分 …… 25
　　3　作付方式 …… 26
　　4　生産計画 …… 27
　　5　労働改善計画 …… 28
　　6　級地別土地利用区分 …… 29
　　7　土地配分計画 …… 30
　第３節　用水計画 …… 30
　　1　計画基準年 …… 30
　　2　計画かんがい方式 …… 30
　　3　計画用水系統 …… 30
　　4　計画用水量 …… 31
　　5　水源計画 …… 33

第4節　排　水　計　画 …… 38
1　計画基準雨量 …… 38
2　計画排水方式 …… 38
3　計画排水系統 …… 38
4　計画排水量 …… 39
5　排　水　対　策 …… 40
6　湛　水　検　討 …… 42
第5節　道　路　計　画 …… 43
1　道路及び索道 …… 43
2　路線配置図 …… 44
第6節　農用地造成計画 …… 45
1　農用地造成計画 …… 45
2　土　壌　改　良 …… 45
第7節　洪水調節計画 …… 46
1　計画基準雨量 …… 46
2　計画洪水量及び調節量 …… 46
3　貯　水　池 …… 46
4　洪水調節検討 …… 47
5　管　理　計　画 …… 47
第8節　干　拓　計　画 …… 48
第9節　農用地整備計画 …… 49
1　区　画　整　理 …… 49
2　暗　渠　排　水 …… 51
3　客　　土 …… 52
4　農　地　保　全 …… 53
第10節　老朽ため池改修計画 …… 54
1　洪水吐改修計画 …… 54
2　堤体補強計画 …… 54
3　取水施設改修計画 …… 55
第5章　主要工事計画 …… 55
第1節　用　水　施　設 …… 55
1　貯　水　池 …… 55
2　頭　首　工 …… 56
3　揚　水　機 …… 57
4　用　水　路 …… 58
5　その他かんがい施設 …… 59
第2節　排　水　施　設 …… 60
1　排　水　水　門 …… 60
2　排　水　機 …… 60
3　排　水　路 …… 61
4　その他排水施設 …… 61
第3節　道路及び索道 …… 62
1　道　　路 …… 62
2　索　　道 …… 64
第4節　農用地造成 …… 65
1　農用地造成 …… 65
2　土　壌　改　良 …… 68
第5節　洪水調節施設 …… 69
1　貯　水　池 …… 69
2　頭首工及び導水路 …… 69
第6節　干　拓　施　設 …… 70
1　堤　　防 …… 70
2　潮　止　め …… 70
3　附　属　施　設 …… 71
4　埋　　立 …… 71

第7節　農用地整備施設 …… 71
1　区画整理 …… 71
2　暗渠排水 …… 73
3　客土 …… 74
4　除礫 …… 74
5　農地保全 …… 75
第8節　老朽ため池改修施設 …… 76
1　貯水池 …… 76
2　堤体補強施設 …… 76

第6章　附帯工事計画 …… 77

第7章　工事の着手及び完了の予定時期 …… 77

第8章　環境との調和への配慮 …… 77

第9章　換地計画の概要 …… 78
第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 …… 78
第2節　換地区の設定 …… 78
1　換地区の名称、所在、面積 …… 78
2　換地区を設定する理由 …… 78
第3節　換地計画樹立の基本方針 …… 78
1　従前の土地の地積の基準 …… 78
2　用途別予定地積 …… 79
3　農用地集団化の方針 …… 80
4　非農用地換地の方法 …… 80
第4節　土地の評価及び清算の方法 …… 81
1　評価の方法 …… 81
2　清算の方法 …… 81
第5節　換地計画樹立の年度計画 …… 81
第6節　換地処分の時期に関する特則 …… 81

第10章　事業費の総額及び内訳 …… 82

第11章　効用 …… 82

第12章　関連する事業 …… 83

第13章　現況・計画図面 …… 83
1　現況平面図 …… 83
2　計画平面図及び土地利用計画図 …… 83
3　主要構造図 …… 83

第１章　目　的

本地区は、柳川市南西部の沖の端川左岸に位置する平地農村地帯で、国営筑後川下流土地改良事業の受益地内である。
農地は不整形で分散し、低平地で排水不良地帯が多く用排兼用のクリーク水路が不規則、無統制に分布している。また、農道は狭く、旧態然とした状況である。よって農作業の能率化、農業機械の効率化、さらに農用地の有効利用に支障をきたしている。とくに最近における農業機械の大型化、共同化は狭いほ場では対応しきれなくなっている。

本計画に於いて区画整理及び農業用用排水施設整備等の基盤整備を一体的に行い、ほ場効率を高め、生産性の向上を図るものである。

第２章　地域及び地積

第１節　地　　域

（第１表）

事　業　名	地　域
農地中間管理機構関連農地整備事業	福岡県柳川市上宮永町外

第２節　地　　積

（令和 7 年　12月現在）（第２表）

事業名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	畑 (ha)	宅地 (ha)	山林原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農地中間管理機構関逼農地整備事業	柳川市	31.8	0.0	0.1	0.0	0.0	8	39.9	
	計	31.8	0.0	0.1	0.0	0.0	8	39.9	
	計								
	計								
	計								
	計								
	計								
	計								
合	計	31.8	0	0.1	0	0	8	39.9	

第3章　現　況

第1節　気象及び海象

1. 一般気象

（第3表－1）

観測所名	羽犬塚観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	T.4年～S.45年	6月～10月	11月～5月		
平均気温 (℃)		19.3 ℃	10.8 ℃	(年平) 15.9 ℃	
降水量	平均 (mm)	1,041.0 mm	899.0 mm	1,940.0 mm	
	基準年 (mm)	813.6 mm	910.4 mm	1,724.0 mm	昭和35年
降水日数	平均 (日)	53 日	93 日	146 日	
	基準年 (日)	67 日	105 日	172 日	昭和35年
根雪期間		－ 月 － 日 ～	－ 月 － 日	－ 日間	
無霜期間		122 日	183 日	305 日間	
最多風向		S. W	最大風速 (風向)	25.7 m/s (SW)	最多風向発生時期 － 月 最大風速発生年月日 S.45年 8月

2. 特殊気象

（第3表－2）

観測所名 羽犬塚観測所 観測期間 T.4年～S.45年	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	349	S28.6.25	1/100	270	S10.6.28	1/40	252	S21.6.20	1/30	240	S30.4.15	1/20	233	S24.8.16	1/10	
最大時間雨量 (mm)	84.3	S28.6.26	－	59.0	S31.8.27	－	50.0	S42.7.9	－	42.0	S41.6.30	－	40.0	S36.7.5	－	
最大4時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量 (mm)	815	S.10.6.26 ～ 7.5	1/100	635	S.37.6.30 ～ 7.8	1/50	584	S.3.6.23 ～ 6.29	1/18	575	S.28.6.24 ～ 6.29	1/16	527	S.10.6.30 ～ 7.10	1/10	
最大連続干天日数 (日)	59	S.42.8.15 ～ 10.12	1/100	42	S.44.8.2 ～ 9.12	1/30	41	T.14.7.20 ～ 8.29	1/17	40	S.27.7.10 ～ 8.18	1/17	40	S.8.8.27 ～ 10.5	1/17	

3. 海　　象

（第３表－３）

観測所名 / 観測期間	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
実測値	(　)	該当なし					(　)	

第２節　土地状況

1.　地形、土壌及び浸食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～10°	10°～15°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積 (ha)	33.30	－	－	－	－	33.3	0.10	－	－	－	－	－	－	0.1			
	比率 (%)	100.00	－	－	－	－	100.0	100.00	－	－	－	－	－	－	100.0			
合計	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
	面積 (ha)	33.30	－	－	－	－	33.3	0.1	－	－	－	－	－	－	0.1	2.26	1.59	
	比率 (%)	100.00		－	－	－	100	100	－	－	－	－	－	－	100			

（第４表－１－２）

土壌統（区）区分一覧表

項目 / 土壌統(区)名	土壌断面				土性				堆積様式	母材	面積(ha) 事業名			備考
	色	腐植	礫層	酸化沈澱物	表土 一層	下層土 二層	下層土 三層	泥炭層・黒泥層及びグライ層			農地中間管理機構関連農地整備事業		計	
灰色土壌群強粘土型(F-51)	－	含量	－	－	CL	CL	CL	なし	－	－	11.0		11.0	
小計											11.0		11.0	
計											11.0		11.0	

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0 ～ 25%	25% ～ 50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面積 (ha)	該当なし										
	比率 (%)											

2. 土地分類

（第４表－２－１）

級地別 / 市町村名	農用地造成												備考
	一級地	二級地				三級地				四級地		計	
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
該当なし													※は傾斜以外の要因によるもの
計													

（第４表－２－２）

級位別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
該当なし						
計						

3. 土地利用の状況

（令和　7 年　12 月現在）　（第４表－３）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地							山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地中間管理機構関連農地整備事業	柳川市	33.3	－	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	6.5	39.9	
	計	33.3	－	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	6.5	39.9	
	計														
	計														
	計														
	合　計	33.3	－	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	6.5	39.9	

4. 土地所有の状況

（令和　7 年　12 月現在）　（第４表－４）

事業名	区分＼所有別	個人有	計	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積(ha)	33.4	33.4	
	受益者数(人)	131	131	
	筆数(筆)	323	323	
	権利関係	所有権		
	備考(関係戸数)			
	面積(ha)			
	受益者数(人)			
	筆数(筆)			
	権利関係			
	備考(関係戸数)			
合計	面積(ha)	33.4	33.4	
	受益者数(人)	131	131	
	筆数(筆)	323	323	
	権利関係	所有権		
	備考(関係戸数)			

第3節　水利状況

1．用水状況

(1) 用水系統

別紙現況用水系統模式図参照（P9-1）

(2) 用水施設

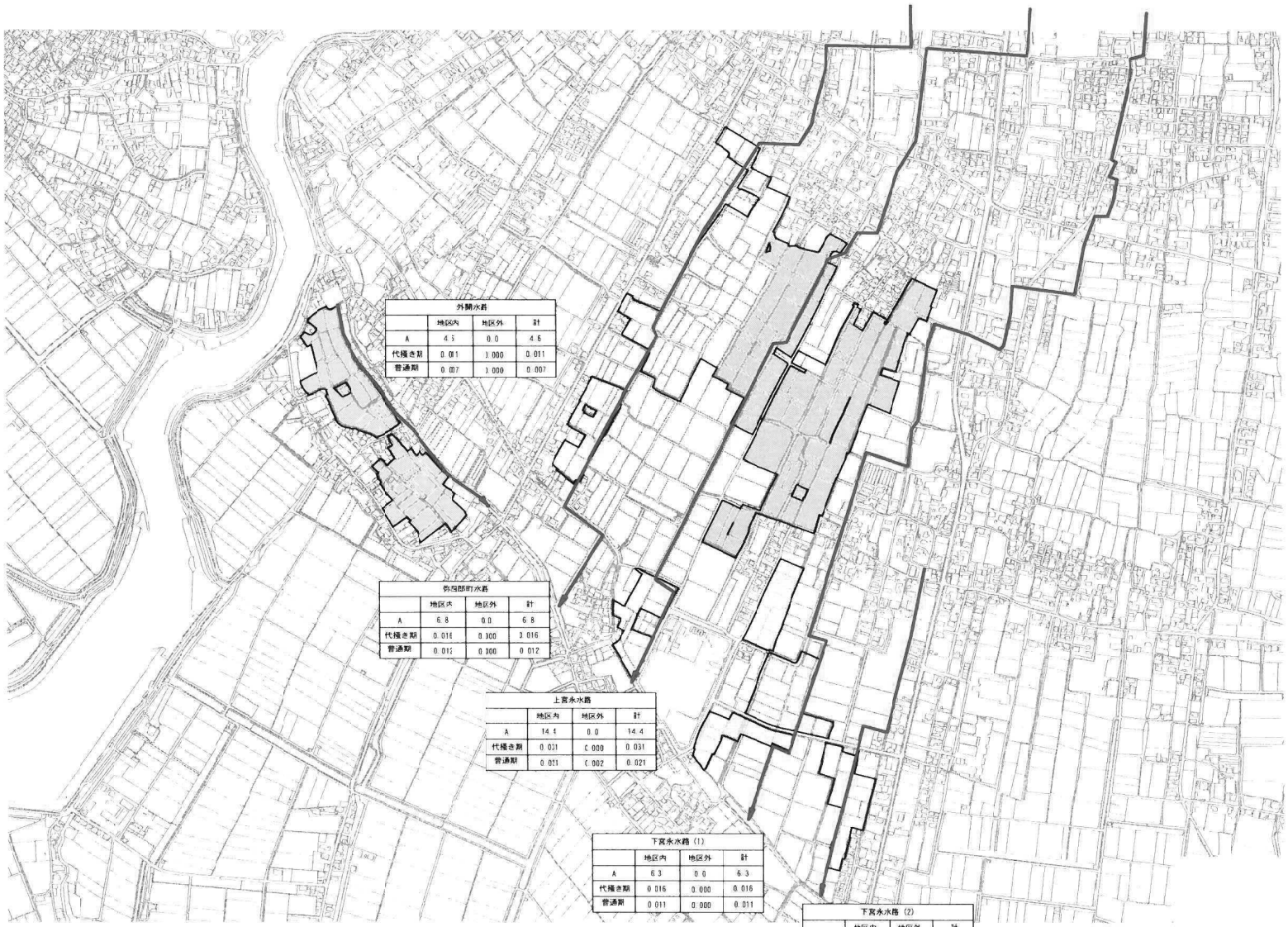
(ｱ) 取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	ha	500ha～100ha 箇所	ha	100ha未満 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権 箇所	m³/S	慣行水利権 箇所	m³/S	延べ取水量 m³/S	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	井堰	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	自然取入口	－	－	－	－	4	31.8	4	31.8	－	－	4	0.173	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計	－	－	－	－	4	31.8	4	31.8	－	－	4	0.173	－	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
合計		－	－	－	－	4	31.8	4	31.8	－	－	4	0.173	－	

令和7年度 計画変更　農地中間管理機構関連農地整備事業　柳川北部第3地区現況用水系統図(変更後)

1:5,000



外開水路			
	地区内	地区外	計
A	4.5	0.0	4.5
代掻き期	0.011	0.000	0.011
普通期	0.007	0.000	0.007

弥四郎町水路			
	地区内	地区外	計
A	6.8	0.0	6.8
代掻き期	0.016	0.000	0.016
普通期	0.012	0.000	0.012

上宮永水路			
	地区内	地区外	計
A	14.4	0.0	14.4
代掻き期	0.031	0.000	0.031
普通期	0.021	0.002	0.021

下宮永水路(1)			
	地区内	地区外	計
A	6.3	0.0	6.3
代掻き期	0.016	0.000	0.016
普通期	0.011	0.000	0.011

下宮永水路(2)			
	地区内	地区外	計
A	1.2	0.0	1.2
代掻き期	0.002	0.000	0.002
普通期	0.001	0.000	0.001

凡例	
———	幹線クリーク

工事名	令和7年度 計画変更 農地中間管理機構関連農地整備事業
地区名	柳川北部第3地区
図面名	現況用水系統図(変更後)
作成年月日	令和7年 9月
縮尺	図示　図面番号
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会
発注者	福岡県筑後川水系農地開発事務所

(イ) 改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 ／ 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年月日	改修を必要とする理由	備考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第５表－３－１)

事業名	項目 / 系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均 (m³/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年 (m³/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均 (千m³)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年 (千m³)	平均減産量 作物名	平均減産量 減産量 (t)	備考
			該当なし							
	計									
	計									
	合計									

(イ) その他の被害状況

(第５表－３－２)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (℃) 最高	水温 (℃) 最低	水質	被害量 (t)	備考
			該当なし				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

（第５表－３－３）

事業名	池名	想定被害面積(ha) 水田	畑	その他	計	想定被害額（百万円） 作物	農地	農業用施設	一般・公共施設	その他	計	備考
	計	－	－		－							
	計	－	－		－							
	計	－	－		－							
	計	－	－		－							
	計	－	－		－							
	計	－	－		－							
合計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

該当なし

２．排水状況

(1) 排水系統

別紙現況排水系統模式図参照 (P13-1)

(2) 排水施設

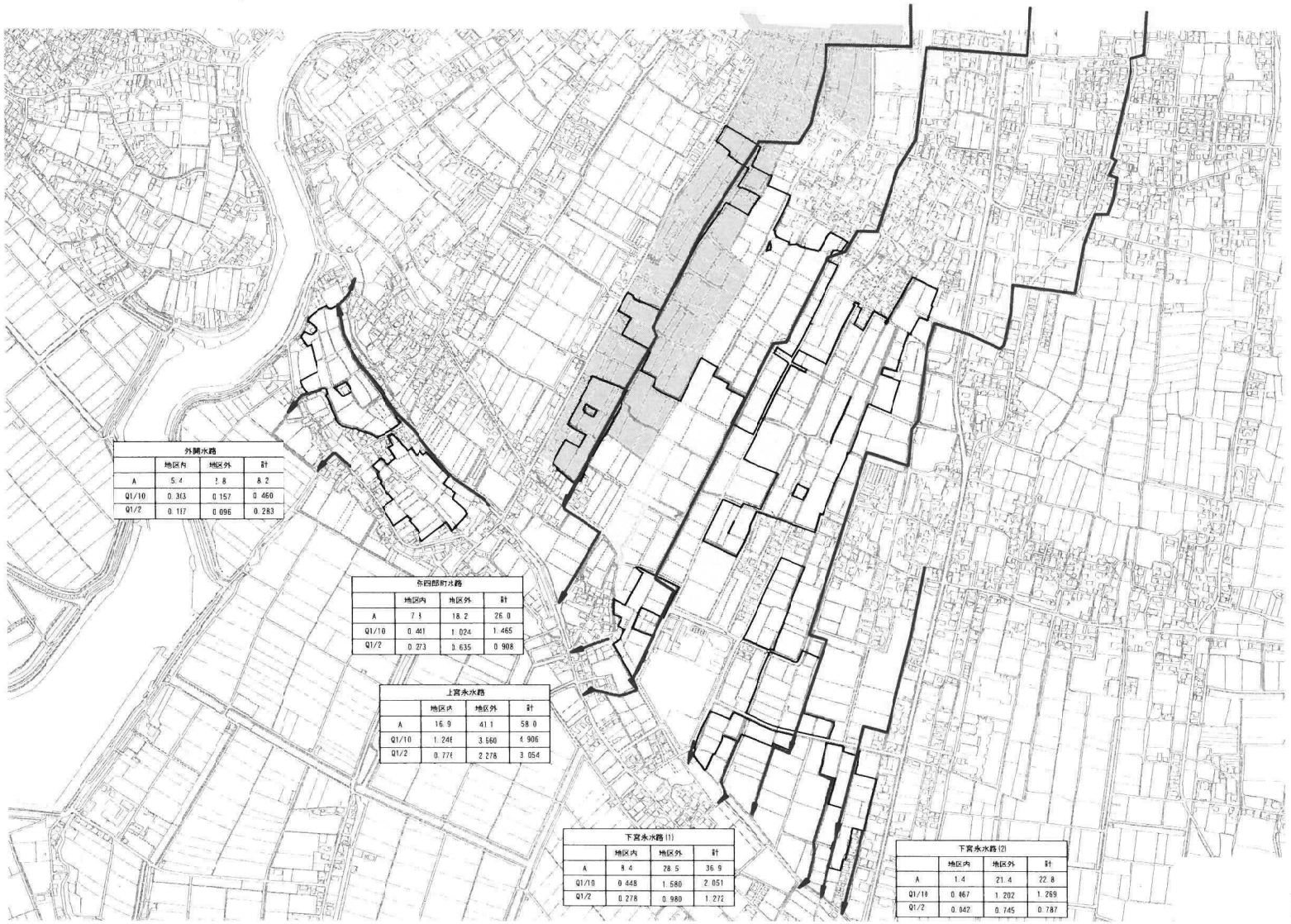
(ｱ) 排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	施設名	項目	排水面積 500ha以上 箇所	ha	500～100ha 箇所	ha	100ha未満 箇所	ha	計 箇所	ha	排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	自然	排水路	－	－	－	－	5	151.9	5	151.9	10.151	23.832	
		水門	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	機械	排水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		水門及び排水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		排水路及び排水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計		－	－	－	－	5	151.9	5	151.9	10.151	23.832	
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
合計			－	－	－	－	5	151.9	5	151.9	10.151	23.832	

令和7年度 計画変更　農地中間管理機構関連農地整備事業　柳川北部第3地区 現況排水系統図(変更後)

1:5,000



外開水路	地区内	地区外	計
A	5.4	2.8	8.2
Q1/10	0.313	0.157	0.460
Q1/2	0.117	0.096	0.283

奈四部町北路	地区内	地区外	計
A	7.1	18.2	26.0
Q1/10	0.461	1.024	1.465
Q1/2	0.273	0.635	0.908

上宮永水路	地区内	地区外	計
A	16.9	41.1	58.0
Q1/10	1.246	3.660	4.906
Q1/2	0.774	2.278	3.054

下宮永水路(1)	地区内	地区外	計
A	8.4	28.5	36.9
Q1/10	0.448	1.580	2.051
Q1/2	0.278	0.980	1.272

下宮永水路(2)	地区内	地区外	計
A	1.4	21.4	22.8
Q1/10	0.467	1.202	1.269
Q1/2	0.042	0.745	0.787

凡例

幹線クリーク

工事名	令和7年度 計画変更 農地中間管理機構関連農地整備事業
地区名	柳川北部第3地区
図面名	現況排水系統図(変更後)
作成年月日	令和7年 9月
縮尺	図示　図面番号
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会
発注者	福岡県筑後川水系農地開発事務所

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表－5)

事業名	施設名 ＼ 項目		施設名又は個所数	受益面積 (ha)	構造規模 (m)		新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	自然	排水路	5	151.9	土水路・柵工	3,153	不明	区画整理の為	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3) 排水に関する被害状況

(第５表－６)

事業名	項目 / 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況 湛水深 (cm)	湛水状況 湛水時間 (hr)	湛水状況 湛水面積 (ha)	湛水状況 湛水量 (千m³)	乾湿状況 (ha) 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 作物名	平均減産量 減産量 (t)	備考
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
	計		平均													
			基準年													

該当なし

3．河 川 状 況

(1) 河川の状況

（第５表－７）

項目 / 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考
該当なし						

(2) 洪水に関する被害状況

（第５表－８）

項目 / 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額	該当なし				
平均被害額					

第４節　　道　路　現　況

1. 道　路　概　況

別紙　現況土地利用図参照（P17-1）

2. 主要道路一覧表

（第６表）

No.	路　線　名	管理区分別	延　長 (m)	幅　員 (m) 全　幅	幅　員 (m) 有　効	構　造	改修の要否	備　考
	その他市道	市	84	6.0	5.0	アスファルト	要	
	その他市道	市	3,691	1.5～4.0	1.5～3.0	砕石	要	

令和7年度 計画変更　農地中間管理機構関連農地整備事業　柳川北部第3地区 現況土地利用図(変更後)

1:3,000



工事名	令和7年度 計画変更 農地中間管理機構関連農地整備事業		
地区名	柳川北部第3地区		
図面名	現況土地利用図（変更後）		
作成年月日	令和7年 9月		
縮尺	図示	図面番号	11
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会		
発注者	福岡県筑後川水系農地開発事務所		

第５節　　地域農業の概況

1. 産業別就業人口

（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱供給水道業 (人)	情報通信業、運輸業、郵便業 (人)	卸売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
柳川市	31,807	1,998	2	1,085	5	2,767	5,174	81	1,840	5,285	476	291	11,804	999	－	令和2年（2020）国勢調査
計	31,807	1,998	2	1,085	5	2,767	5,174	81	1,840	5,285	476	291	11,804	999	－	
比率 (%)	100	6.3	0.0	3.4	0.0	8.7	16.3	0.3	5.8	16.6	1.5	0.9	37.1	3.1	－	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数　　（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸) 例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	自給的農家	1戸当たり平均農用地面積 (ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 1戸当たり団地数	団地当たり面積 (ha)	専兼業別農家数 (戸) 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
柳川市	1,079	127	160	158	45	21	22	17	32	19	11	467	6.73	0.40	0.23	7.37	－	7.37	－	－	－	－	－	
計	1,079	127	160	158	45	21	22	17	32	19	11	467	6.73	0.40	0.23	7.37	－	7.37	－	－	－	－	－	
比率 (%)	100.0	11.8	14.8	14.6	4.2	1.9	2.0	1.6	3.0	1.8	1.0	43.3	91.4	5.5	3.2	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数　　（第７表－3）

項目 / 市町村名	動力農機具 動力田植機 数量(台)	動力田植機 戸数(戸)	トラクター 数量(台)	トラクター 戸数(戸)	コンバイン 数量(台)	コンバイン 戸数(戸)	主要家畜 乳用牛 数量(頭)	乳用牛 戸数(戸)	肉用牛 数量(頭)	肉用牛 戸数(戸)	採卵鶏 数量(羽)	採卵鶏 戸数(戸)	備考
柳川市	－	－	－	－	－	－	－	4	218	3	1,290	4	2020 農林業センサス
計	－	－	－	－	－	－	－	4	218	3	1,290	4	
100戸当たり数量(台、頭)	－		－		－		0		7267		32250		
利用戸数割合（%）	－		－		－		36.4		27.3		36.4		

4. 主要作物作付状況

（第７表－４）

市町村名			柳川市						計	平均		
総耕地面積 (ha)			3,880						3,880			
総本地面積 (ha)											作付率	備考
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田		水稲	1560	514					1560	514	40.2	
		大豆	1440	211					1440	211	37.1	
	表作											第71次福岡農林水産統計年報
	裏作	大麦	116	523					116	523	3.0	
		小麦	2830	450					2830	450	72.9	
	小計		5946						5946		153.2	
畑	春夏作											
	秋冬作											
	小計											
樹園地	小計											
計			5946						5946		153.2	
市町村別延べ作付率 (%)			153.2						153.2			

5. 農業の動向

（第７表－５）

区分＼項目	農家	B	A（現在）	土地	B	A（現在）	主要作物 作物名	B	A（現在）	大家畜 家畜名	B	A（現在）	動力農機具 農機具名	B	A（現在）	地域 指定等	備考
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	76	57	耕地	109	111	水稲	100	90	乳用牛	76	0	トラクター	78	－	・農業振興地域 ・野菜集団産地 ・農業生産総合振興計画	A:2020年
	専業農家数	108	－	田	110	111	麦類	93	93	肉用牛	－	－	動力田植機	72	－		B:2015年
	第一種兼業農家数	76	－	畑	51	89	豆類	113	109	採卵鶏	481	417	コンバイン	79	－		C:2010年
	第二種兼業農家数	59	－	樹園地	82	59											（農林業センサス）
	農業従事者数	71	56														
変化の理由	後継者の不足などから離農する人が増え、農家数は減少傾向である。 ※A（現在）が「－」の箇所は2020年農林業センサスデータなし			耕作放棄地の解消など、耕地利用の効率化が図られいる。			生産組織、担い手農家等へ作業委託をし、大型機械化体系から麦類は増加している。			農家規模縮小のため、家畜飼育頭数は減少傾向にある。			生産組織、担い手農家等へ作業委託が増加していることから動力農機具は減少傾向である。 ※A（現在）が「－」の箇所は2020年農林業センサスデータなし				

第６節　　地域環境の概況

1.　植物、動物等生態系の概要

植物については、河川やクリークが多いため水生植物、湿生植物が多く分布している。全域的にはオニビシ、ヒシモドキ、イバラモなどが植生し、クリーク及びその周辺には、ホテイアオイ、ウキクサ、アシなどが植生している。

動物については、河川やクリークなどの流水域や水田などの止水域が多いため水辺を生息の場とする動物が多く、フナ、コイ、ドジョウ、メダカ、ヤリタナゴ、カネヒラ、ニッポンバラタナゴ等が見られる。

2.　その他の地域環境の概要

柳川市は、立花12万石の城下町としての古いたたずまいと、詩聖北原白秋の詩歌の母体となった詩情あふれる水郷によって代表されどんこ船によりまちの中を縦横に流れる堀割の川下りは観光名所となっている。

又温泉保養地として、或いは「うなぎ」や「有明魚貝の珍味料理」など、味のふるさととして、観光客に満悦を与えている。

第４章　一　般　計　画

第１節　　事　業　計　画　の　要　旨

1. 要　　旨

本事業の目的を達成するために、区画整理（耕区 75mx40m=30a　ほ区 100mx300m=3.0ha)により排水と用水（鉄筋コンクリート柵渠）の分離、道路（有効幅員　B=4.0～5.0m）の整理を行い、併せて農業用用排水施設整備により用水の安定的確保、排水不良の解消を図る等総合的な農業基盤整備により、農地の汎用化による高品質、高収益の作物導入、農地の高度利用と換地処分（農地集団化）により営農の省力化を計り、農家経営の安定化に寄与する計画である。

2. 事業別面積

（第８表）

事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業																							
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	(ha)	小計 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理	31.8	-	0.1	-	-	8.0	39.9															39.9	
計	31.8	0	0.1	-	-	8.0	39.9															39.9	

第２節　　営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の1戸当り平均耕地面積(水田、畑）は0.3ｈａと狭い為、ほ場整備によって集団化と流動化を推進し、中核農家の経営の規模拡大を図る。また、土地利用型農業と集約型農業とを区域分けし、集落単位に営農組織を作り、水稲は「赤とんぼ米（特栽米）」を栽培し、大豆、小麦、レタス、ジャガイモ、オクラ、スイートコン等は低コスト化を図るため大規模な営農を目指す。

2. 土 地 利 用 区 分

（第９表－１）

事業名	区分＼土地利用区分	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	山林原野 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農地中間管理機構関連農地整備事業	現 況	33.3	－	0.1	－	－	－	－	33.4	－	－	6.5	39.9	
	計 画	31.8	－	0.1	－	－	－	－	31.9	－	－	8.0	39.9	
	現 況													
	計 画													
	現 況													
	計 画													
計	現 況	33.3		0.1	－	－	－	－	33.4	－	－	6.5	39.9	
	計 画	31.8		0.1	－	－	－	－	31.9	－	－	8.0	39.9	

3．作　付　方　式

（第9表－2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分		1年目	2年目	3年目	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況		田	表	水稲 ○－△――×－× 大豆 ○－△――×－×	水稲 ○－△――×－× 大豆 ○－△――×－×	水稲 ○－△――×－× 大豆 ○－△――×－×	作付体系の表示 播種 ○－○ 移植 △－△ 収穫 ×－×
				裏	小麦 ○－○――× レタス ○－△－×－×	小麦 ○－○――× レタス ○－△－×－×	小麦 ○－○――× レタス ○－△－×－×	
			普通畑	表				
				裏				
	計画	輪換耕地	田	表	特栽米 ○－△――×－× 大豆 ○－△――×－× オクラ ○――×――×	特栽米 ○－△――×－× 大豆 ○－△――×－× オクラ ○――×――×	特栽米 ○－△――×－× 大豆 ○－△――×－× オクラ ○――×――×	
				裏	小麦 ○－○――× レタス ○－△－×－× スイートコーン ○－○――× ジャガイモ ×－× ジャガイモ ○	小麦 ○－○――× レタス ○－△－×－× スイートコーン ○－○――× ジャガイモ ×－× ジャガイモ ○	小麦 ○－○――× レタス ○－△－×－× スイートコーン ○－○――× ジャガイモ ×－× ジャガイモ ○	
			普通畑	表				
				裏				

4. 生 産 計 画

（第9表－3）

事業名	項目 / 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 現況	単位面積当たり収量 (kg/10a) 計画	単位面積当たり収量 (kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左増減の生産量内訳 (t) 面積増減	同左増減の生産量内訳 (t) 単位面積当たり収量増加	備考
				30.9	30.9												
農地中間管理機構関連農地整備事業	水田	表作	水稲	16.4	－	△ 16.4	53	－	499	499	－	81.8	－	△ 81.8	△ 16.4	－	
			特栽米	－	16.9	16.9	－	55	367	367	－	－	62.0	62.0	16.9	－	
			大豆	14.5	13.7	△ 0.8	47	44	140	140	－	20.0	19.2	△ 0.8	△ 0.8	－	
			オクラ	－	0.3	0.3	－	1	1,682	1,682	－	－	5.0	5.0	0.3	－	
		裏作	小麦	20.3	20.3	0.0	66	66	363	367	4	74.0	74.5	0.5	0.0	4.0	
			レタス	0.1	7.0	6.9	－	23	1,657	1,923	266	2.0	134.6	132.6	6.9	266.0	
			スイートコーン	－	0.5	0.5	－	2	1,036	1,036	－	－	5.2	5.2	0.5	－	
			ジャガイモ	－	1.9	1.9	－	6	2,115	2,115	－	－	40.2	40.2	1.9	－	
		計		51.3	60.6	9.3	166	197				177.8	340.7	162.9	9.3	270.0	
	普通畑	表作															
		裏作															
		計		－	－	0.0	－	0				－	－	0.0	0.0	－	
合計				51.3	60.6	9.3	166	197				177.8	340.7	162.9	9.3	270.0	

5. 労 働 改 善 計 画

（第9表－4）

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作物面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a) 区分	現況	計画	増減	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	水田	特栽米	16.9	人力	374	142	△ 232	
				機械	258	92	△ 166	
		大豆	13.7	人力	258	46	△ 212	
				機械	150	35	△ 115	
		小麦	20.3	人力	225	75	△ 150	
				機械	163	74	△ 89	
		レタス	7.0	人力	1,880	1,610	△ 270	
				機械	760	710	△ 50	
		オクラ	0.3	人力	10,600	9,180	△ 1420	
				機械	1,460	40	△ 1420	
		ジャガイモ	1.9	人力	7,574	7,404	△ 170	
				機械	880	710	△ 170	
		スイートコーン	0.5	人力	2,070	1,528	△ 542	
				機械	584	462	△ 122	
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
	普通畑			人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
	計		60.6					
	合計				27,236	22,108	△ 5128	

6. 級地別土地利用区分

（第９表－５）

区分 / 級地名 / 土地利用区分		農用地造成 (ha) 一級地	二級地	三級地	四級地	計	干拓 (ha) 一級地	二級地	三級地	四級地	計	合計
農地	田	該当なし										
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑　園）											
その他												
計												

7. 土地配分計画　　（第９表－６）

区分＼項目	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha) 田	輪換耕地	畑 普通畑	畑 牧草畑	畑 樹園地	計	備考
増反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入植	該当なし	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第３節　用水計画

1. 計画基準年　昭和３９年　（国営筑後川下流土地改良事業計画書による。）

かんがい期間　有効雨量　３７４．４㎜　(1/55年)
連続干天日数　１６日　(1/9年)

2. 計画かんがい方式

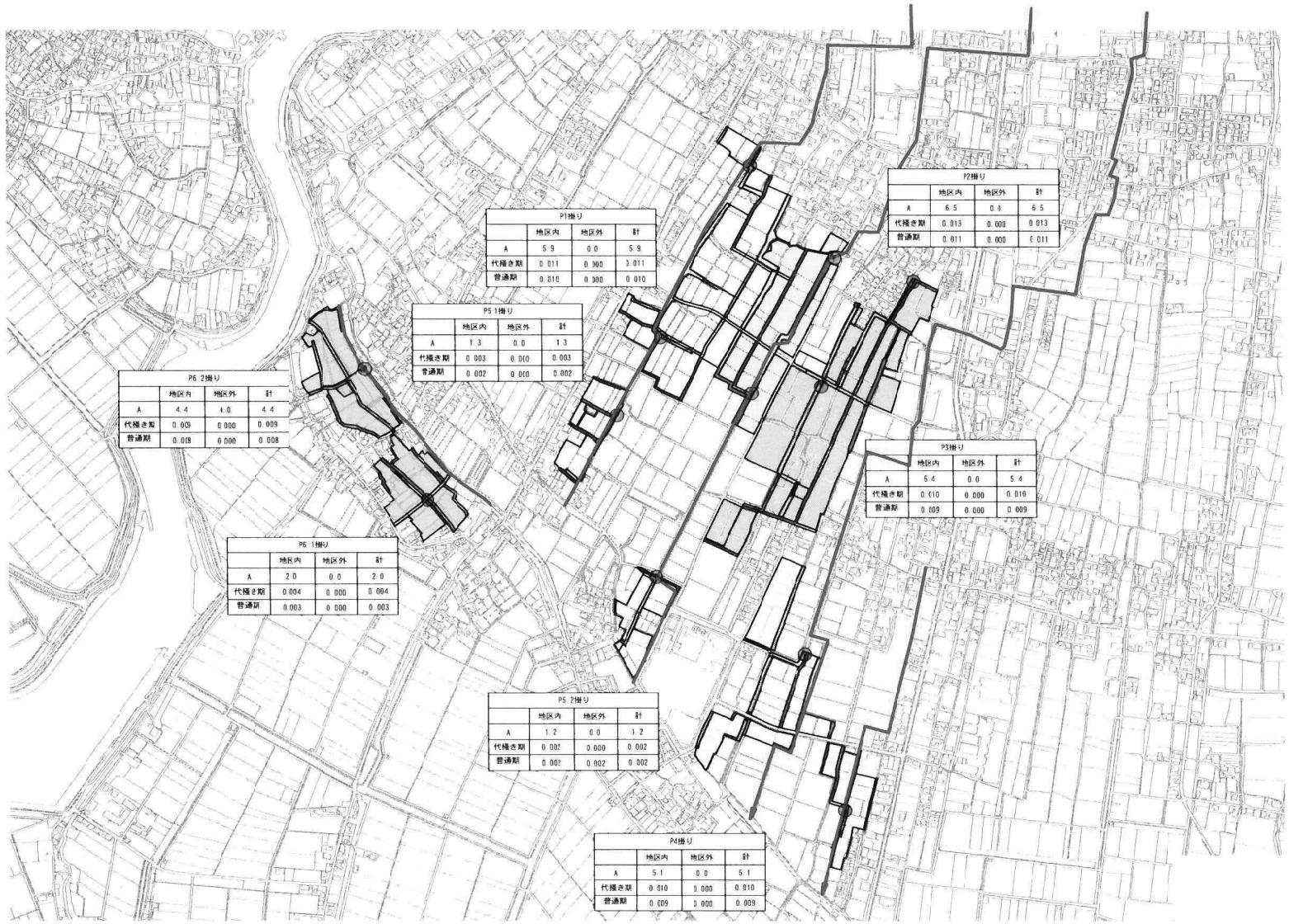
輪換田 … 県営かん排水路より給水を受け、パイプラインかんがいとする。
水稲　代掻期間　6月21日～6月30日　普通期　7月　1日～10月10日
輪換畑 … 支線用排水路よりポンプで取水し、パイプラインかんがいとする。
そ菜　通年

3. 計画用水系統

別紙計画用水系統模式図参照　(P30-1)

令和7年度 計画変更　農地中間管理機構関連農地整備事業　柳川北部第3地区 計画用水系統図（変更後）

1:5,000



P1掛り

	地区内	地区外	計
A	5.9	0.0	5.9
代掻き期	0.011	0.000	0.011
普通期	0.010	0.000	0.010

P2掛り

	地区内	地区外	計
A	6.5	0.0	6.5
代掻き期	0.013	0.000	0.013
普通期	0.011	0.000	0.011

P3掛り

	地区内	地区外	計
A	5.4	0.0	5.4
代掻き期	0.010	0.000	0.010
普通期	0.009	0.000	0.009

P4掛り

	地区内	地区外	計
A	5.1	0.0	5.1
代掻き期	0.010	0.000	0.010
普通期	0.009	0.000	0.009

P5-1掛り

	地区内	地区外	計
A	1.3	0.0	1.3
代掻き期	0.003	0.000	0.003
普通期	0.002	0.000	0.002

P5-2掛り

	地区内	地区外	計
A	1.2	0.0	1.2
代掻き期	0.002	0.000	0.002
普通期	0.002	0.002	0.002

P6-1掛り

	地区内	地区外	計
A	2.0	0.0	2.0
代掻き期	0.004	0.000	0.004
普通期	0.003	0.000	0.003

P6-2掛り

	地区内	地区外	計
A	4.4	4.0	4.4
代掻き期	0.009	0.000	0.009
普通期	0.008	0.000	0.008

凡例

	幹線クリーク
	揚水機

工事名	令和7年度 計画変更 農地中間管理機構関連農地整備事業
地区名	柳川北部第3地区
図面名	計画用水系統図（変更後）
作成年月日	令和7年 9月
縮尺	図示　図面番号 8
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会
発注者	福岡県筑後川水系農地開発事務所

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第１０表－１－１)

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	面積(ha) 事業名 計	水田かんがい 普通期計画平均 (mm/日)	水田かんがい 代かき期計画代かき (mm)	水田かんがい 面積 (ha)	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	水田畑利用 平均間断日数 (日)	水田畑利用 面積 (ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	畑地かんがい 平均間断日数 (日)	畑地かんがい 面積 (ha)	その他 計画平均単位用水量 (mm/日)	その他 面積 (ha)	消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m³/s)	粗用水量 最大 (m³/s)	備考
柳川城外堀	農業用水			15.2	150.0	31.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.173	15 (35)	0.071	0.087	
計		-	-	15.2	150	31.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.173	15	0.071	0.087	-

(2) 営農飲雑用水

(第１０表－１－２)

区分	利用目的	対象面積 (ha) 事業名 計	日当たり給水量 単位給水量 (ﾘｯﾄﾙ/日)	日当たり給水量 最大給水量 (ﾘｯﾄﾙ/日)	補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
該当なし							

5. 水 源 計 画

(1) 水利用計画

(第１０表－２)

区分＼項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場 利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
	a	b	c=a-b	d=c/(1-α)		e	f	g=c-f	h=d-e				損失率: α
	(千m³)	(千m³)	(千m³)	(千m³)		(千m³)	(千m³)	(千m³)	(千m³)		(千m³)		
農地中間管理機構関連農地整備事業	506	110	396	440	柳川城外掘掛	752	623	75	64	筑後川	64	筑後導水路	α＝ 10%
計	506	110	396	440		752	623	75	64		64		

(2) 用 水 対 策

(ア) 貯 水 池

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積 (km²) 直接	流域面積 (km²) 間接	かんがい面積 (ha) 事業名	かんがい面積 (ha) 計	純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考
計	－	－	－	－	－	－	－	－	

(ｲ)　井堰及び自然取入口

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積 (km^2)	かんがい面積 (ha) 事業名	計	取水量 (m^3/s) 最大	平均	渇水量 (m^3/s)	備考
計								

(ｳ) 揚 水 機

（第１０表－５）

名称＼項目	水源名	かんがい面積 (ha) 事業名			所要水量 (m^3/s)		揚水機				備考
		農地中間管理機関連農地整備事業		計	最大 (m^3/s)	平均 (m^3/s)	実揚程 (m)	揚水量 (m^3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m^3/s)	
P1-1・P1-2	筑後導水路	5.9		5.9	0.011	0.010	6.6	0.068	2	0.068	
P2-1・P2-2		6.5		6.5	0.013	0.011	7.3	0.076	2	0.076	
P3-1・P3-2		5.4		5.4	0.010	0.009	6.0	0.050	2	0.050	
P4-1・P4-2		5.1		5.1	0.010	0.002	7.7	0.061	2	0.061	
P5-1		1.3		1.3	0.003	0.002	7.6	0.025	1	0.025	
P5-2		1.2		1.2	0.002	0.002	5.7	0.028	1	0.028	
P6-1		2.0		2.0	0.004	0.003	7.0	0.030	1	0.030	
P6-2		4.4		4.4	0.009	0.008	7.0	0.030	1	0.030	
計	－	31.8	－	31.8							

(エ) 用 水 路

(第１０表－６)

項目 / 名称	かんがい面積 (ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業		計	最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
支線用水路	31.8		31.8	0.076	6.1	塩ビ管	
計	31.8	－	31.8		6.1		

(オ)　その他の水源施設

(3) 水　温　水　質

第４節 排　水　計　画

1. 計画基準雨量

国営かんがい排水事業　　「筑後川下流地区」土地改良事業計画に準じる。

基幹排水
- 61mm/h　(3日連続雨量の2日目の一時間雨量)
- 流域面積　30ha以上の地域に適用
- 計画基準雨量、確率1/10年
- ライニングする場合は確率1/2年相当の38mm/hを適用

末端排水
- 108mm/4h
- 流域面積　30ha未満の地域に適用
- 計画基準雨量、確率1/10年
- ライニングする場合は確率1/2年相当の67mm/4hを適用

なお国営水路は計画基準雨量370mm/3day,比流量q＝5.00㎥/㎢/ｓ
(国営かんがい排水事業「筑後川下流地区」土地改良事業計画書による)

2. 計画排水方式

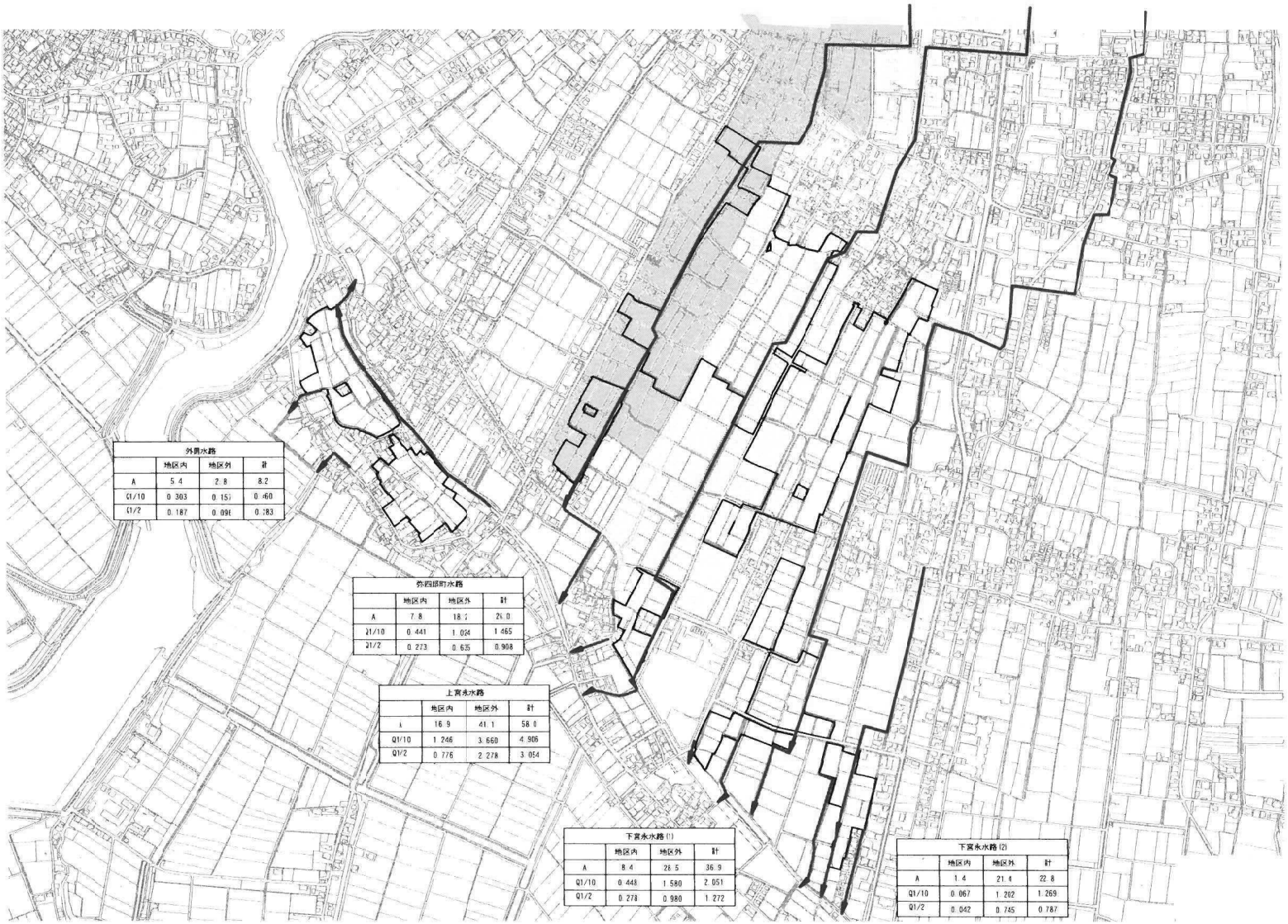
地区内・地区外 → 幹線排水路・支線排水路 → 現況水路、支線用排水路へと自然排水する。

3. 計画排水系統

別紙排水系統摸式図参照(P38-1)

令和7年度 計画変更　農地中間管理機構関連農地整備事業　柳川北部第3地区 現況排水系統図（変更後）

1:5,000



外員水路	地区内	地区外	計
A	5.4	2.8	8.2
Q1/10	0.303	0.157	0.460
Q1/2	0.187	0.096	0.283

弥四郎町水路	地区内	地区外	計
A	7.8	18.2	26.0
Q1/10	0.441	1.024	1.465
Q1/2	0.273	0.635	0.908

上宮永水路	地区内	地区外	計
A	16.9	41.1	58.0
Q1/10	1.246	3.660	4.906
Q1/2	0.776	2.278	3.054

下宮永水路(1)	地区内	地区外	計
A	8.4	28.5	36.9
Q1/10	0.448	1.580	2.051
Q1/2	0.278	0.980	1.272

下宮永水路(2)	地区内	地区外	計
A	1.4	21.4	22.8
Q1/10	0.067	1.202	1.269
Q1/2	0.042	0.745	0.787

凡例

幹線クリーク

工事名	令和7年度 計画変更 農地中間管理機構関連農地整備事業
地区名	柳川北部第3地区
図面名	現況排水系統図（変更後）
作成年月日	令和7年 9月
縮尺	図示　図面番号
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会
発注者	福岡県筑後川水系農地開発事務所

4. 計 画 排 水 量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積 (ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	受益面積 (ha) 計	流域面積 (km²) 山地	流域面積 (km²) 平地	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m³/s/km²) 山地	降雨による直接単位流出量 (m³/s/km²) 平地	基底流出量 (m³/s/km²) 山地	基底流出量 (m³/s/km²) 平地	全排水量 (m³/s) 山地	全排水量 (m³/s) 平地 自然排水	全排水量 (m³/s) 平地 機械排水	単位排水量 (m³/s/km²) 山地	単位排水量 (m³/s/km²) 平地	備考
支線排水路	151.9	151.9	－	1.519	108.0	－	－	－	－	－	10.151	－	－	5.630	
計	151.9	151.9	－	1.52		－	－	－	－	－	10.151	－	－	5.630	－

5. 排　水　対　策

（1）　排水水門

（第１１表－２）

名称 ＼ 項目	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名	受益面積 (ha) 計	計画排水量 排水量 (m³/s)	計画排水量 地区内湛水深 (m)	排水本川 名称	排水本川 計画洪水量 (m³/s)	排水本川 計画洪水位 (m)	備考
該当なし									
計									

（2）　排　水　機

（第１１表－３）

名称 ＼ 項目	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名	受益面積 (ha) 計	計画排水量 排水量 (m³/s)	計画排水量 地区内湛水深 (m)	排水機 実揚程 (m)	排水機 排水量 (m³/s)	排水機 台数 (台)	排水機 全排水量 (m³/s)	備考
該当なし										
計										

(3) 排 水 路

（第１１表－４）

名称 ＼ 項目	流域面積 (km²)	受益面積 (ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	受益面積 (ha) 事業名 計	計画排水量 (m³/s)	延長 (km)	構造	排水本川 名称	排水本川 計画洪水量 (m³/s)	排水本川 計画洪水位 (m)	備考
幹線排水路	1.519	151.9	151.9	10.151	6.7	RC柵渠 ブロックマット ブロック積	現況水路	－	－	
			－							
計	1.519	151.9	151.9	10.151	6.7					

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第５節　道　路　計　画

1. 道路及び索道

（１）道路

（第１２表－１）

項目 / 路線名	幅（有効）（m） × 延長（km）	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	6.0（5.0）× 0.1	アスファルト	－	
〃	5.0（4.0）×3.8	砕石	－	

(2) 索道

（第１２表－２）

項目 / 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考
		該当なし		

2. 路線配置図

別紙計画道路図参照 (P44-1)

令和7年度 計画変更　農地中間管理機構関連農地整備事業　柳川北部第3地区 計画道路図(変更後)

1:3,000



凡例	
(塗り)	支線道路(As)
(白抜き)	支線道路(砕石)

工事名	令和7年度 計画変更 農地中間管理機構関連農地整備事業		
地区名	柳川北部第3地区		
図面名	計画道路図(変更後)		
作成年月日	令和7年 9月		
縮尺	図示	図面番号	
会社名	福岡県土地改良事業団体連合会		
発注者	福岡県筑後川水系農地開発事務所		

第６節　　農用地造成計画

1. 農用地造成計画

（１）農用地造成計画

（第１３表－１）

項目 / 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
該当なし					

（１）末端道水路配置図

2. 土壌改良

（第１３表－２）

項目 / 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH H_2O	pH KCl	置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量 石灰 (t)	ha当たり所要量 りん酸質資材 (t)	ha当たり所要量 有機質資材 (t)	備考
該当なし										

第７節　　洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該　当　な　し

2. 計画洪水量及び調節量

（第１４表－１）

地　　点	流域面積 (km^2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	最大調節量 (m^3/s)
該　当　な　し										

3. 貯　水　池

（第１４表－２）

項目 / 貯水池名	流域面積 (km^2) 直接	流域面積 (km^2) 間接	計画洪水量 (m^3/s)	貯水量（千 m^3） 有効	貯水量（千 m^3） 洪水調節容量	貯水量（千 m^3） 他目的	計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備考
該　当　な　し									

4. 洪 水 調 節 検 討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 な し

5. 管 理 計 画

(1) 管理機構

該 当 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 な し

（第１５表）

項目 / 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
該当なし						

第9節　農用地整備計画

1．区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

短辺×長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
40×75	0.3	31.9	100	1m未満	
計		31.9	100		

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m^3)	備考
31.9	腐植含量	15	47,850	

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2．暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

（第１６表－３－１）

区分 ＼ 項目	面積 (ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (l/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方式	備考
本暗渠	11.0	11.0	灰色土壌群強粘土型	－	3.47	0.6	自然排水	
計	11.0	11.0						

(2) 心土破砕

（第１６表－３－２）

区分 ＼ 項目	面積 (ha) 事業名	計	土壌統（区）名	土壌硬度	備考
該当なし					
計					

3．客　土

（第１６表－４）

区分＼項目	面積（ha） 事業名 計	土壌統名（区）	減水深（mm/日） 現況平均	減水深（mm/日） 計画平均	作土の厚さ（cm） 現況平均	作土の厚さ（cm） 計画平均	10a当たり客土量（m^3）	土壌の性質 受益地	土壌の性質 採土地（客土材料）	備考
該当なし										
計										

4．農 地 保 全

(1) 防災林

(第１６表－５－１)

区分 ＼ 項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
該当なし				

(2) 排 水 工

(第１６表－５－２)

名称 ＼ 項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量 単位排水量 (m^3/s/ha)	排水量 全排水量 (m^3/s)	備考
該当なし						

(3)　浸食（崩壊）防止工

（第１６表－５－３）

項目 / 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
該当なし				
計				

第10節　　老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1)　計画基準雨量

該　当　な　し

(2)　計画洪水量

該　当　な　し

2. 堤体補強計画

該　当　な　し

3. 取水施設改修計画

該 当 な し

第５章　主要工事計画

第1節　　用水施設

1. 貯水池

（第１７表－１）

名称	位置										
	型式	流域面積 (Km²) 直接	流域面積 (Km²) 間接	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m³) 総貯水量	貯水量 (千m³) 有効貯水量	備考
堤体	該 当 な し									
	型式	洪水量 (m³/s)	備考		型式	取水量 (m³/s)		型式	放流量 (m³/s)	
洪水吐	該 当 な し			取水施設	該 当 な し		放流施設	該 当 な し		

2. 頭 首 工

（第１７表－２）

名称 型式	位置 堤高 (m)	堤長 (m) 固定部	 可動部	 計	取水位 (m)	取水量 (m^3/s)	付帯施設	備考
該当なし								

3. 揚 水 機

（第１７表－３）

項目 / 名称	位置	揚水機 揚水量 (m^3/s)	揚程 (m) 全揚程	揚程 (m) 実揚程	揚水機 型式	揚水機 口径 (mm)	揚水機 台数 (台)	原動機 型式	原動機 動力 ( )	原動機 台数 (台)	備考
該当なし											

4. 用 水 路

（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積 (ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	かんがい面積 (ha) 計	通水量 (m^3/s)	延長 (km) 開きょ	延長 (km) トンネルその他	延長 (km) 計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線用水路	31.8	31.8	0.004～0.013		6.06	6.06	塩ビ管	－	－	
計	31.8	31.8	0.004～0.013	0.00	6.06	6.06	－	－	－	－

5. その他かんがい施設

該当なし

第２節　排　水　施　設

1. 排 水 水 門

（第１８表－１）

名称＼項目	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考
該当なし							
計							

2. 排 水 機

（第１８表－２）

名称＼項目	位置	排水量 (m^3/s)	揚程 (m) 全揚程	揚程 (m) 実揚程	排水機 型式	排水機 口径 (mm)	排水機 台数 (台)	原動機 型式	原動機 動力 ( )	原動機 台数 (台)	備考
該当なし											
計											

3. 排 水 路

（第１８表－３）

水路名＼項目	受益面積 (ha) 事業名 農地中間管理機構関連農地整備事業	受益面積 (ha) 計	排水量 (m³/s)	延長 (km) 開きょ	延長 (km) トンネルその他	延長 (km) 計	構造	勾配	主要構造物	備考
支線排水路	151.9	151.9	0.013～4.790	6.68	0.00	6.68	RC柵渠 ﾌﾞﾛｯｸﾏｯﾄ ﾌﾞﾛｯｸ積	1/2000	－	
計	151.9	151.9	0.013～4.790	6.68	0.00	6.68	－	－	－	－

4. その他排水施設

該 当 な し

第3節　道路及び索道

1．道　　路

(1)道路の総括表

（第１９表－１）

項目 / 路線名	区分	幅(有効)(m)×延長(km)	構造	付帯構造物 名称	付帯構造物 構造	付帯構造物 数量(箇所)	最急こう配(%)	同左の延長(m)	最小曲線半径(m)	備考
第１号支線道路	支線道路	6.0(5.0)×0.1	アスファルト	－	－	－	－	－	－	
第２～26号支線道路	支線道路	5.0(4.0)×3.8	砕石	暗渠	ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	10	－	－	－	
第１～５号耕作道路	支線道路	3.0(2.5)×0.1	砕石	－	－	－	－	－	－	
取付１号道路	支線道路	1.0(0.8)×0.1	砕石	－	－	－	－	－	－	

(2)　道路主要構造物

〔第１９表－２〕

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考
	該当なし				

2. 索　　道

（第１９表－３）

名称＼項目	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 型式	原動機 動力 ( )	備考
該当なし						

第4節　農用地造成

1．農用地造成

(1) 抜　　根

（第２０表－１）

項目 / 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
該当なし						
計						

(2) 除　　礫

（第２０表－２）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
該当なし					
計					

(3) 開 墾 作 業

（第２０表－３）

区分＼項目	地目	造成工法	面積 (ha)	工法	備考
該当なし					
計					

(4) 地 目 変 換

（第２０表－4）

区分＼項目	面積 (ha)	工法	備考
該当なし			
計			

(5) 末端用水路等

(第２０表－5)

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
該当なし				
計				

(6) 末端排水路等

(第２０表－6)

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
該当なし				
計				

2. 土 壌 改 良

（第２０表－7）

項目 / 区分	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
該当なし					
計					

第５節　洪水調節施設

１．貯水池

該当なし

２．頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第２１表－２)

名称 / 型式	集水面積 (km²)	堤高 (m)	位置	堤長 (m) 固定部	堤長 (m) 可動部	堤長 (m) 計	計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
該当なし									

(2) 導水路

(第２１表－３)

項目 / 水路名	通水量 (m³/s)	堤長 (m) トンネル	堤長 (m) その他	堤長 (m) 計	構造	勾配	備考
該当なし							

第６節　干　拓　施　設

１．堤　　防

（第２２表－１）

項目／名称	型式	延長 (m)	構造 提頂標高 (m)	構造 盛土幅 (m)	構造 盛土標高及び舗装	構造 上流斜面	構造 下流斜面	原地盤標高 (m) 平均	原地盤標高 (m) 最低	備考
該当なし										

２．潮　止　め

（第２２表－２）

項目／名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
該当なし							

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋　　立

（第２２表－３）

項目 / 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m^3)	施工方法	備考
該 当 な し					

第７節　　農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

（第２３表－１）

工区名	面積 (ha)	整地工 標準区画	整地工 土量 (m^3)	表土扱い 面積 (ha)	表土扱い 土量 (m^3)	備考
柳川北部第３	31.9	40m×75m (3000m2)	47,850	31.9	47,850	

(2) 末端用水路等　　（第２３表－２）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
支線用水路	6,059m	φ100～250	塩ビ管	
計	6,059m	－	－	

(3) 末端排水路等　　（第２３表－３）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
支線排水路	3,153m	500×600～ 6,200/2,500×1,200	コンクリート柵工 ブロックマット	
計	3,153m	－	－	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第２３表－４－１)

区分＼項目	面積 (ha) 事業名			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	農地中間管理機構関連農地整備事業		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
F-51	11.0		11.0	1/250	VU管	50～65	20	1/500	有孔管	50～60	0.7	10		幹線排水路 支線排水路	柵渠		
計	11.0		11.0														

(2) 心土破砕

(第２３表－４－2)

区分＼項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
該当なし					
計					

3. 客　土

（第２３表－５）

項目 / 区分	面積 (ha) 事業名	計	客土土量 (m³)	土取場土量 (m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
該当なし							
計							

4. 除　礫

（第２３表－６）

項目 / 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面積 (ha)	工法	備考
該当なし					
計					

5. 農 地 保 全

(1) 防 災 林

(第２３表－７)

区分＼項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
該当なし						
計						

(2) 排 水 路

(第２３表－８)

区分＼項目	延長 (m)	流量 (m^3/s)	構造	備考
該当なし				
計				

(3) 浸食防止工

(第２３表－９)

名称＼項目	構造	数量	備考
該当なし			
計			

第８節　　老朽ため池改修施設

1. 貯　水　池

（第２４表）

名　　称					位　　置			
	型　式	流　域 (km²)	堤　高 (m)	堤　長 (m)	堤体積 (m³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m³)	備　考
堤　　体	該　当　な　し							
	型　式	洪水量 (m³/s)	規　模 (m)	備　考		型　式	取水量 (m³/s)	備　考
洪　水　吐	該　当　な　し				取水施設	該　当　な　し		

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該　当　な　し

(2) 漏水防止工

該　当　な　し

第６章　付帯工事計画

該　当　な　し

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着工予定年度 …… 令和 2 年度
完了予定年度 …… 令和 10 年度

第８章　環境との調和への配慮

配慮の考え方

・工事実施前及び工事実施中に希少動植物を発見した場合は、近傍の生息可能域へ移動。

・工事実施に伴う土砂の流出を低減するため、適宜土砂たまり等を設け、下流への影響がないように努める。

第9章　換地計画の概要

第1節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家の各所に分散する農用地の集団化、その他農業構造の改善及び処分の早期完了を図るため、工事着手前において換地計画に関する基礎調査及び換地設計基準を作成し、換地区全域の換地計画原案を作成する事前換地とする。なお、換地計画原案樹立にあたっては、地区内農家の意向を反映し、地域における農業振興計画及び土地利用計画との調整を関係機関と十分協議し作成する。

第2節　換地区の設定

1．換地区の名称、所在、面積　　（第25表－1）

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
柳川北部第3	福岡県柳川市上宮永町外	39.9

2．換地区を設定する理由

該当なし

第3節　換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準　　（第25表－2）

換地区名	地積の基準
柳川北部第3	換地交付の基準とする従前の土地の地積は土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した測量図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合はその地積とする。

2. 用途別予定地積

（単位：ha）（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地								非農用地区域に換地する土地															機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	施行事業に含める土地改良通常地域に含まれる土地（令第１条の９（ ）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
							その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上必要な施設用地・経営上	公用施設用地・公共用	宅地等	計							
	従前の土地	33.3	0.1	－	－	－	－	－	33.4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.5	6.5		39.9
	換地	31.8	0.1	－	－	－	－	－	31.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	8.0	8.0		39.9
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	33.3	0.1	－	－	－	－	－	33.4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.5	6.5		39.9
	換地	31.8	0.1	－	－	－	－	－	31.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	8.0	8.0		39.9

3. 農用地集団化の方針

（第２５表－４）

区分 / 換地区名	地帯別・グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
柳川北部第３	集落別集団化 作物・地目別集団化 担い手別集団化	換地は、原則として各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に集団化する。	1～2	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。畦畔の設定にあたっては、原則として短辺が10m以下となるような設定はしない。

4. 非農用地換地の方法

（第２５表－５）

区分 / 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積（㎡）	換地の手法	換地取得予定者	その他
	該当なし					
	合計					

第４節　　土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

項目別配点方式

2. 清算の方法

比例地積清算方式

第５節　　換地計画樹立の年度計画　　（第２５表－６）

区分 / 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
柳川北部第３	令和2～10年度	令和10年度	令和10年度	

第６節　　換地処分の時期に関する特則　　換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず換地処分を行うものとする。

第10章　事業費の総額及び内訳　　区画整理工

（第２６表）

区分＼事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業（百万円）	備考
工事費	1430	
工事雑費	13	
地方事務費	67	
計	1510	
関連事業（参考）		

第11章　効用

（第２７表）

事業名	区分＼項目	年総効果額（千円）	年総増加所得額（千円）	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	作物生産効果	13,492	13,351	
	営農経費節減効果	17,523	18,546	
	維持管理費節減効果	△ 6,880	－	
	災害防止効果（農業関係資産）	56,675	－	
	災害防止効果（一般資産）	22,227	－	
	災害防止効果（一般資産）	14,492	－	
	国産農産物安定供給効果	2,818	－	
	計	120,347	31,897	

〈参考〉

総便益額：2,754,362　千円　　総費用総便益比：1.02　　総所得償還率：－　％

第12章　　関連する事業

（第２８表）

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事　業　内　容
	国営筑後川下流事業	国	14,348	基幹かんがい

第13章　　現況・計画図面

1. 現況平面図

添付図面参照

2. 計画平面図及び土地利用計画図

添付図面参照

3. 主要構造図

添付図面参照